

関係者の皆様

 galerie taménaga
depuis 1969
TOKYO PARIS OSAKA KYOTO

ギャラリーためなが
2026年5月吉日

ご案内

《巴里展のプレビュー 智内兄助展》

東京・南青山の画廊、ギャラリーためながの契約作家 智内兄助が、文化協会会長を務める埼玉県蕨市で、新作の展覧会および講演会を開催いたします。本展では、今秋に開かれる当画廊パリ店での個展にてお披露目する智内の新作約15点を、日本で特別に事前公開いたします。

智内はここ数年、「飛天（仏や菩薩の功德が世界に広がる時に空中を舞う存在）」をテーマにした新たな創作に取り組んでいます。パリでは2002年から定期的に個展を開いており、2023年の前回以来、今回で9回目を迎えます。

この機会にぜひ、智内の作品と世界観をご堪能下さい。



展覧会概要

『巴里展のプレビュー 智内兄助展』（ギャラリーためなが協力）

会場 蕨市立歴史民俗資料館

開館時間 午前9時～午後4時30分（休館日 月曜日、国民の祝日）

展覧会会期 2026年5月20日（水）～6月4日（木）

講演会日時 2026年5月23日（土）13時30分～



智内兄助 / Kyosuke TCHINAI

1948年、愛媛県今治市生まれ。東京藝術大学大学院修了。
大学入学時に上京して以来、埼玉県蕨市に居を構え、2014年に蕨市文化協会会長に就任した。

1983年、上野の森美術館油絵大賞展に出品。1987年、安井賞展特別賞を受賞。
和紙にアクリル絵具という独特な画法と、日本の伝統美である衣装文様や花鳥風月をモチーフとした幻想的な作品が国内外で高い評価を獲得。美術館のほか、元プロテニスプレーヤーのロジャー・フェデラー氏やヨーロッパ屈指の大コレクターであるロスチャイルド家に作品を収めている。

2024年12月には智内兄助一般財団法人を設立し、今治市や今治明德短期大学と連携協定を結ぶなど、地元振興にも積極的に参画している。

ギャラリーためながについて

ギャラリーためながは1969年、銀座にて印象派から現代美術までを扱う画廊として創業し、以来半世紀に渡り国内外の美術館及び蒐集家に名品の数々を紹介してまいりました。1971年にパリと大阪、2021年に京都に開廊し、2025年9月には発祥の地・銀座から新たなアートの発信地として展示スペースを従来の3倍に広げ、南青山・骨董通りに移転いたしました。

現在は各画廊においてヨーロッパに限らず世界中から集まる作家達の作品を展覧し、特に最近では日本人作家の作品を見せる機会も増えており、美術業界において大きな役割を担っています。

なお、智内兄助展は2026年秋に当画廊パリ店（18,AV.MATIGNON 75008 PARIS, FRANCE）にて開催予定です。



【お問い合わせ】

ギャラリーためなが

〒107-0062 東京都港区南青山6丁目5-39

電話:03-3573-5363

担当:亀田

蕨市生涯学習スポーツ課

〒335-0004 埼玉県蕨市中央5丁目14番15号

電話:048-433-7729